

様式 3 (第 5 条関係)

平成 1 8 年 5 月 2 5 日

由利本荘市長 柳 田 弘 様

由利本荘市本荘地域協議会長 細 谷 文 夫

意 見 書

平成 1 8 年 5 月 1 6 日付開催の本荘地域協議会において、下記事項について審議しましたので
意見書を提出します。

記

- 1 . 平成 1 8 年度における本荘地域の事業計画について

意 見 書

本 荘 地 域 協 議 会

事 項	1 . 平成 18 年度における本荘地域の事業計画について
-----	-------------------------------

意 見 内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅東の急激な人口増を踏まえ、駅西と駅東の歩道橋(跨線橋)が必要と考える。駅東からの道は大ノ道と赤沼の踏切しかないことからの設置希望である。 ・ 各地区納税組合の解散は時代の流れで仕方がないが、納税意識の啓発は「開かれた住民活動」として重要である。 ・ 「学校図書整備事業」は今後とも継続充実してもらいたい。 ・ 少子化対策として様々な対策がなされているが、定員が少なく子どもを預けづらいつ感じられるので、入所定員の増をお願いしたい。 ・ 小、中学校のグラウンドの除雪への対応をお願いしたい。 ・ 農業の振興として、どうすればバランスが取れた生産構造となるのかを明確にして、施策を進めるべきである。 また、現在は、認定農家のみを対象として施策を進めているが、それ以外の農家への対応も必要である。 ・ 地球温暖化防止率先計画で、廃棄物の発生抑制や有効利用があがっているが(自分も県立大学で「家庭でできる省エネ」を研究テーマとしている)、それだけでなく、家庭一戸一戸の取り組みも重要であり、市民への啓発も必要である。 ・ 市役所での検討や取り組みもあるが、現時点の学術的な研究もあるので、それを活用する方向で取り組んでいただければと考える。 ・ 除雪が合併前と変化した言われている。主要道路はよいがそれ以外の道路は充分ではなく危険が感じられるので、除雪機の貸し出しなどの各種対策についても考慮願いたい。 ・ 少子化対策についてだが、母子家庭の人が、保育園の条件が合わなくて、結局個人経営の保育園に入れたと聞いたが、子供を持つ親が安心して働けるよう、なお一層、市の方でも取り組んでもらいたい。 ・ 高齢者福祉施策はあるが、家族のいる在宅者や施設入所者はともかく、一人暮らし老人はずっと家の中に一人きりであり、そういう人たちが一ヶ所に集まって話ができるような施設が欲しいと考える。 ・ 集会施設建設費補助を交付する際に、老人や学童の憩いの場(居場所)を作ることを条件にすることができないか(また、そういう補助事業ができないか。)。 ・ 託児機能は充実してきているが、休日はだめな場合、預ける時間帯が制限される場合など不備な点がまだまだ多くあるので、もう少しきめ細かい配慮を願いたい。 ・ 病気入院の場合、ある期間経過後退院させられる場合がある。介護施設入所にもすぐには入所できないとのことから、対策に取り組むべきではないか。 ・ 事業実施の過程で住民の意見を十分に受け止め、反映してもらいたい。 ・ 本荘には何も無いと言う声が聞かれた。「本荘市とは何ぞや」という事をキチンと踏まえた施策を実行し、市民の期待に応えてもらいたい。